

東海第二発電所の定期検査中に発見された不具合について
(第5給水加熱器(C)の伝熱管破断について)

当社、東海第二発電所(沸騰水型軽水炉; 電気出力110万キロワット)は、平成11年4月4日から第17回定期検査を実施中ですが、運転再開準備のため平成12年2月22日給復水系統の第5給水加熱器(C)に通水したところ、給水加熱器内の水位上昇が認められました。

このため、当該給水加熱器の水抜きを行い、内部を調査した結果、伝熱管1本が破断していることを確認しました。

なお、原因については現在調査中です。

本事象による外部環境への放射能の影響はありません。

(通商産業省によるINESの暫定評価尺度)

基準1	基準2	基準3	評価レベル
—	—	0—	0—

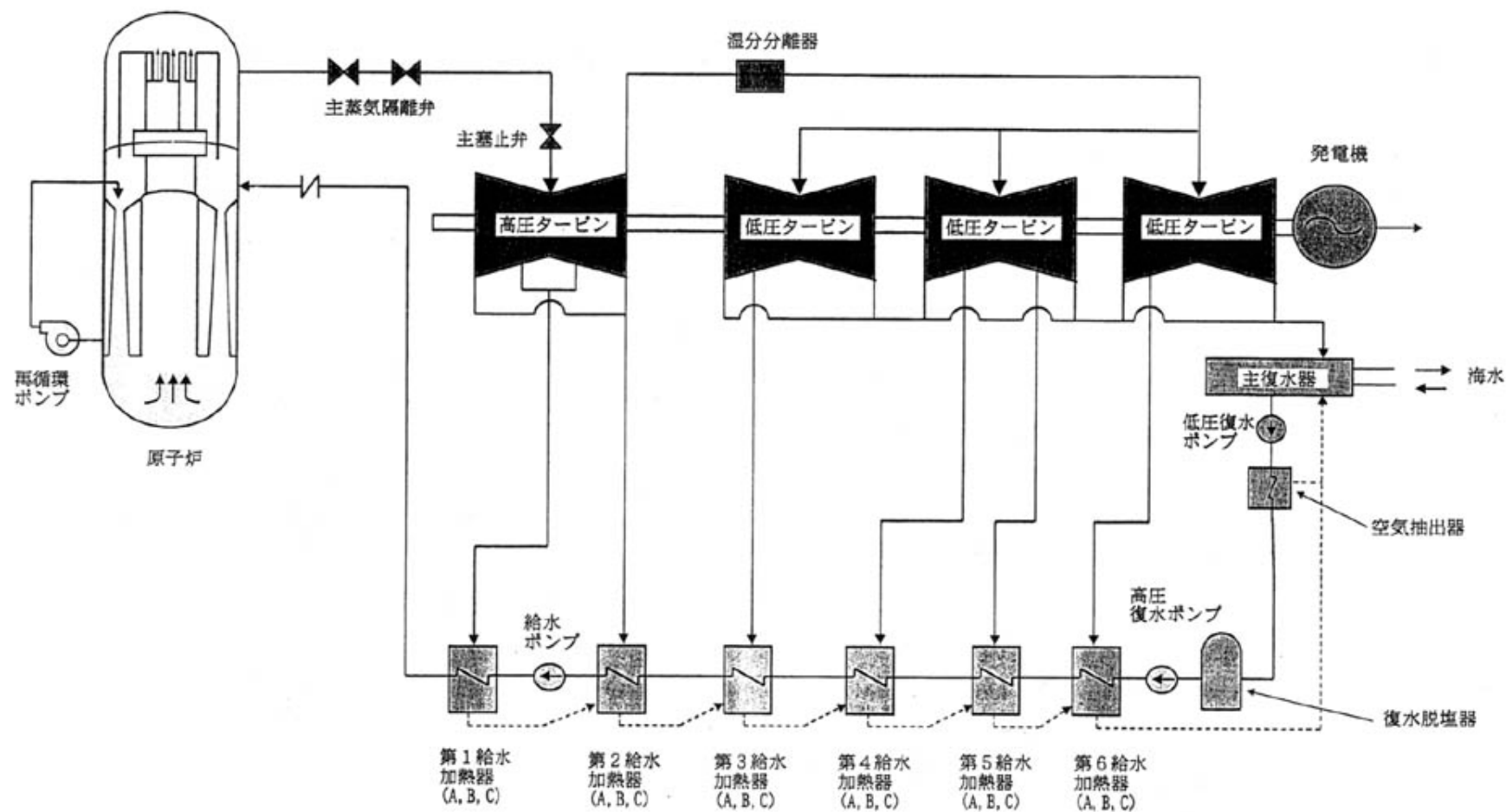
以上

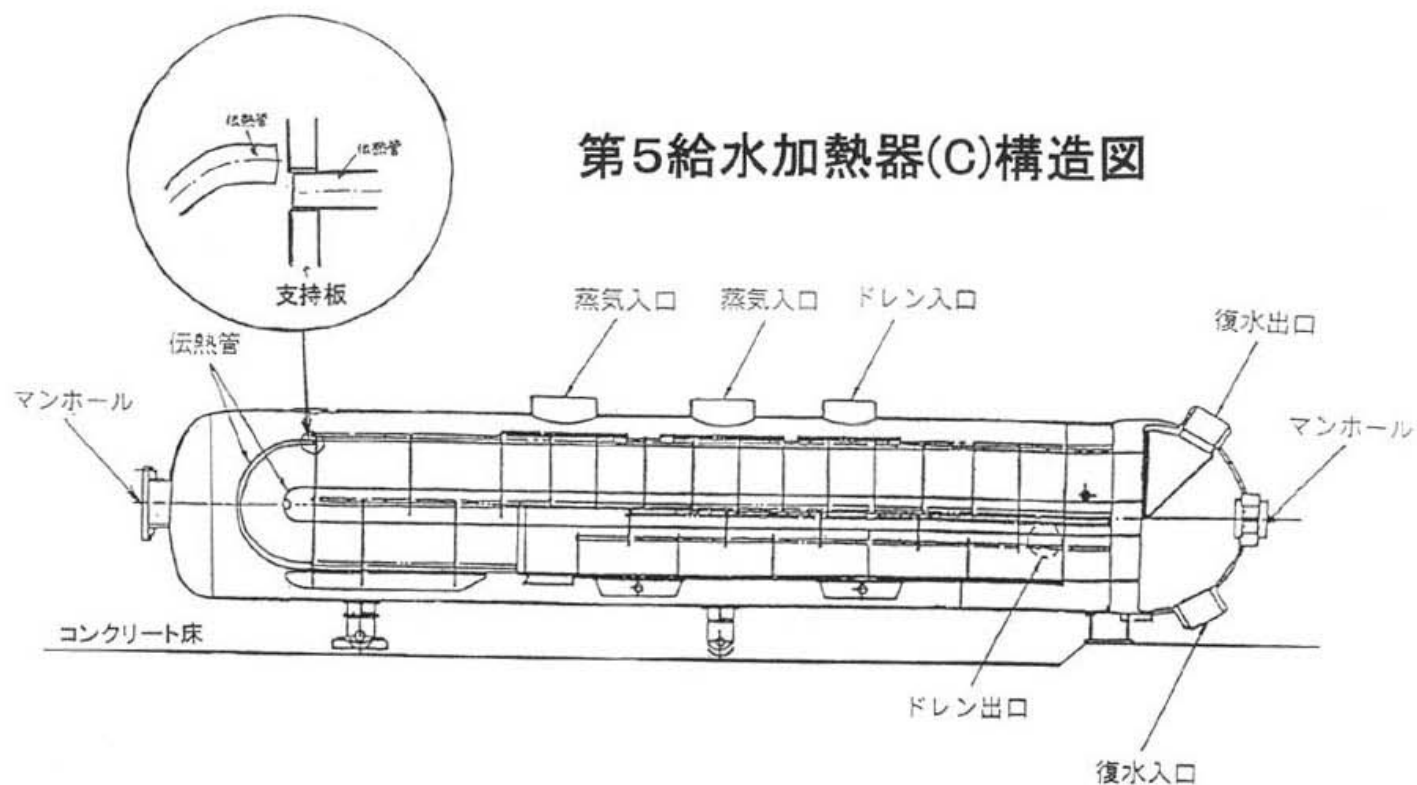
資 料 東海第二発電所主要系統概略

資 料 第5給水加熱器(c)構造図

資 料 給水加熱器内部点検状況

東海第二発電所 主要系統概略



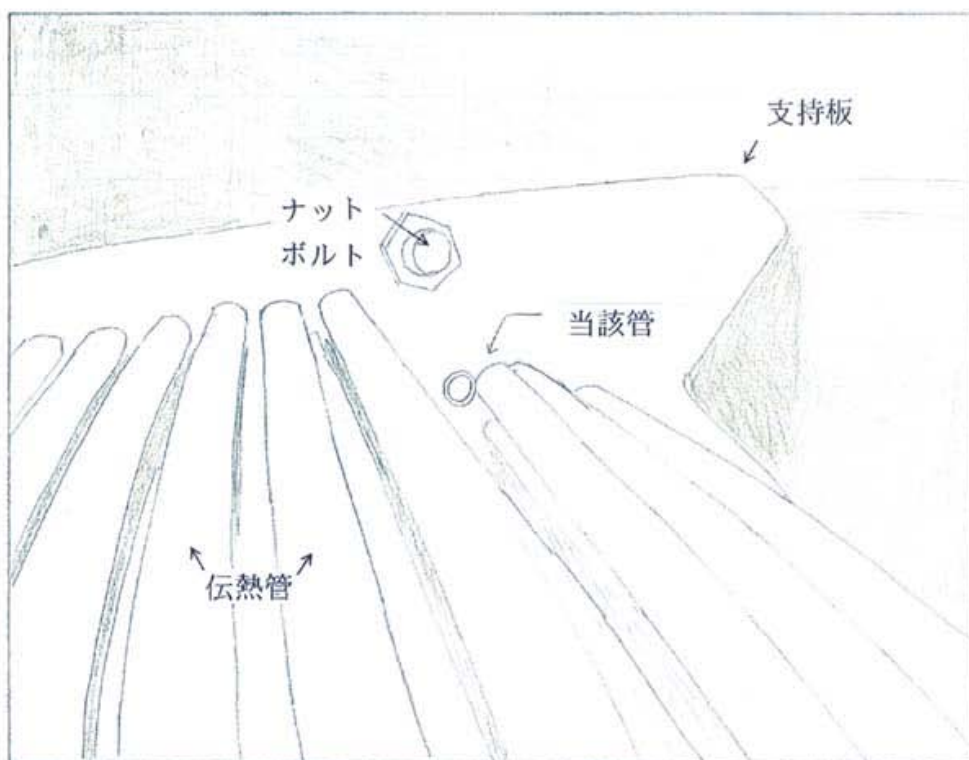


第5給水加熱器(C)構造図

第5給水加熱器(C)全長 約13m

			材質
胴	内 径	2,200 mm	低合金鋼
	肉 厚	19.0 mm	
伝熱管	外 径	15.9 mm	ステンレス管
	肉 厚	1.0 mm	

給水加熱器内部点検状況



給水加熱器内部点検状況